



(Japan Skipjack tuna Society)

## 日本カツオ学会 平成 29 年度カツオセミナー開催 (ご案内)

### ～カツオによる復興と地域づくり～

日本カツオ学会は、会員の皆様のご尽力をもちまして、立ち上げから 6 年目を迎えました。これまでに、自治体と現場の声を反映するための「カツオフォーラム」を 7 回開催し、多様な関係者による、カツオに対する調査研究の場として「カツオセミナー」も 5 回開催しました。とくにカツオ資源の危機的状況について、この学会を通して何度も警鐘を鳴らし続けました。第 6 回目となります今年度は宮城県気仙沼市が会場となります。

この日本カツオ学会は 2011 年が明けてすぐに結成されましたが、その 2 カ月後、東日本大震災が起こり、生鮮カツオ水揚げ日本一の気仙沼港も危機に陥りました。魚市場や餌イワシの網が壊滅し、三陸沖のカツオ漁自体が絶望的な状況となりました。しかし、「カツオの水揚げなくして気仙沼復興はあり得ない」という被災地の思いのもと、関連業界が 6 月のカツオ水揚げを目指して、その年もカツオ水揚げ日本一の記録を守ることができました。

この震災の経験をとおして、カツオ漁が成り立っていくためには、水揚げ港の存在とともに、餌イワシ・漁船の燃料・漁労機器などの購入や修理、乗組員の食料と娯楽の確保ができる、いわゆる「港町」としての要件がそろっていなければならないことが、再認識されたわけでした。今回のカツオセミナーにおいては、カツオによって復興への道を歩み始めた気仙沼港を事例にしながら、さらに、今後、カツオによる地域づくりを、どのように目指していくべきかを考えるステージにしたいと思えます。

会員はじめ、皆様からの多様な意見の発表の場ともさせていただきますので、一般講演を募集いたします。カツオに関するご発表であれば、どのようなものでも構いませんので、ふるってご応募いただきますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

### 記

1. 日 時：平成 29 年 7 月 8 日 (土) 13 時から
2. 場 所：気仙沼プラザホテル (〒988-0014 宮城県気仙沼市柏崎 1-1)  
コンベンションホール「飛天」
3. 概 要
  - ① 開会の挨拶
  - ② 基調講演①：若林 良和 氏 (愛媛大学社会共創学部教授)  
「カツオ学の共創に向けて～地域資源としてのカツオによる連携と協働～」
  - ③ 基調講演②：久塚 智明 氏 (株式会社 F B T プランニング代表取締役)  
「カツオの伝統的食価値を活用した新しい地域活性化」
  - ④ 特別講演：熊谷 浩幸 氏 (気仙沼漁協魚市場部長)  
「震災から 6 年目のカツオの漁況と課題」



(Japan Skipjack tuna Society)

- ⑤ 討議：基調講演および特別講演の登壇者と共に「カツオによる復興と地域づくり」について討議。
  - ⑥ 一般講演：口頭発表(12分発表・3分質疑)を2演題程度
  - ⑦ 交流会：気仙沼プラザホテル ベイクリスタル
4. 一般講演の申し込み、および要旨(400字程度、図表の挿入も可)の締め切りは平成29年6月26日(月)午後5時必着とします(応募多数の場合は選考させていただきます)。
5. セミナー終了後、同施設内にて交流会を予定。こちらも是非ご参加ください。  
参加費：4,000円(事前申込制)
6. 申込先

**日本カツオ学会事務局**

〒780-8073 高知市朝倉本町2丁目17-47

高知大学地域連携推進センター内

TEL：088-844-8734

FAX：088-844-8556

メールアドレス：katsuo@kochi-u.ac.jp

## 要旨原稿の作成および提出

- (1) 講演 1 件につき、A4 版縦の 1 枚に、演題、発表者名、本文を配置した完全原稿を作成してください。
- (2) 余白は上20mm、下25mm、左右各25mm とします。
- (3) 文字のサイズは10.5ポイントとします。図表は使用しないでください。
- (4) 第 1 ～ 2 行で演題を書き、その下の行に発表者名（複数人連名の場合は演者の氏名の前に○印を付ける）とカッコ内に所属名を記入し、1 行空けて本文を 4 0 0 字程度で記入してください。
- (5) 必要に応じて図表等を挿入してください。ただし、全体でA4版1枚を超えない範囲までとします。
- (6) 提出する電子ファイルの形式は、PDFまたはWORDとします。
- (7) 要旨は学会会報誌にて公開させていただきますことをご了承ください。
- (8) 作成した要旨の電子ファイルを平成29年6月26日（月）午後5時まで（必着）に日本カツオ学会事務局（katsuo@kochi-u.ac.jp）に提出してください。提出はできる限りE-mailにてお願いします（メールに講演要旨の電子ファイルを添付）。

